

Phak chii

2019年3月号

朴廷熙公認会計士事務所

〒542-0081

大阪市中央区南船場 1-16-10 大阪岡本ビル5階

電話：06-6264-6135 F A X：06-6264-6136



いつもお世話になります。春は出会いと別れの季節です。毎年の事ですがこの時期になると何故か今も卒業式を思い出します。仲の良い友達と離れる辛さ、思い出すと今も胸が痛くなります。と、言いながらその友人達とは今も付き合っています。母親に「友達を大切に」と教えられて来ました。あの時空間を共有した友達は「生涯の宝物」だと思っています。

【税金を納めるとポイントが貯まる!?!】

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを念頭に、社会全体がさまざまな分野でキャッシュレス化に向かっていきます。これは訪日外国人のニーズに応えるためもありますが、世界の流れに取り残されないようにという焦りでもあるのでしょうか。そして、納税にもキャッシュレス化の波は押し寄せています。納税方法の中で一般的に知られているのは金融機関や税務署の窓口で納めるやり方ですが、税金の種類によっては指定した銀行口座より自動振替で納める方法もあります。これは「振替納税」といいます。また税金が30万円以下であれば、専用のバーコード付納付書を使って手数料不要で最寄りのコンビニで納めることもできます。その他にも事前の届出等は必要となりますが「ペイジー」を利用して金融機関のATMやインターネットバンキングで支払うことも可能です。さらに国税庁の専用サイトを介してクレジットカードも利用できます。この場合、1円〜1万円までは82円（税込み）、それ以降は1万円を超えるごとに82円を加算した決済手数料が別途かかります。とはいえ、各カード会社によるポイント還元などの特典もあるため手数料を支払ってでも利用する価値はあるかもしれませんね。このように一昔前に比べて今の時代に合った納税方法の選択肢も随分と増えてきました。



オイシイ!

岡山・祭りずし



李です。実家が駅弁好きだったので今も駅弁フェアは無視できません。特に子供の頃から大好きなのが岡山県の祭り寿司です。桃の形をした平たいお弁当箱に酢飯、錦糸玉子、山の幸、椎茸、タケノコ、酢蓮、ワラビ、そして海の幸のエビ、しめ鯖の切り身とままかり・・・と具材がたっぷりです。ままかりとはニシン科の青魚で漢字では「飯借」。ままかりがあまりにも美味しいのでまま(飯)が直ぐなくなり、隣の家からままを借りてまで食べたいというのが語源。

今月の教えてキーワード：【特別背任罪】

取締役などの地位にある者が他者や自分の利益を図り会社に財産上の損害を与えた場合に成立する。旧北海道拓殖銀行の不正融資事件や大王製紙の巨額背任事件など、不正融資や不良貸付が近年の事例として知られる。背任罪は刑法で規定され従業員などに適用されるが、企業経営者は責任がより重いことから特別背任罪としてそれ以上に重い「10年以下の懲役または1千万円以下の罰金」が科せられることが会社法で定められている。

【人の思いを大切にした商売】

「世の中に たえて桜の なかりせば 春の心は のどけからまし (在原業平：ありわらのなりひら)」。世の中にもし桜がなければ、どれほど心穏やかに春を過ごすことができるでしょう。この歌のとおり、日本人にとって桜ほど縁の深い花はありません。古来、花といえば桜を指したといわれるほどです。暖くなれば桜は咲いたかとそわそわし、風が吹けば桜が散りはしないかと気がもめる。そんな気ぜわしさも春が訪れた証です。世界的な桜の名所として知られるワシントンD. C. のポトマック河畔。あの桜並木は、1912年に日本が贈った桜の苗木から始まったのは有名な話です。桜の季節が終わった寂しさをなぐさめるように初夏を彩るのは、白や赤の花をつけるハナミズキ。アメリカ東部が原産のハナミズキは、ポトマック河畔の桜のお礼として大正時代にアメリカから日本に渡ってきました。ハナミズキの花言葉は「返礼」。当時の人々の温かい交流をうかがい知ることができますが、このハナミズキの運命はワシントンD. C. の桜とは異なるものでした。

太平洋戦争が始まると、それまで日比谷公園などに植えられていたハナミズキの一部は「敵国の贈り物」として切り倒されたり、空襲などで枯れたりしてしまっただけです。人々の心はハナミズキから離れ、存在も忘れ去られました。しかし原木は生き残り、心ある人たちのおかげで再び開花することができたのです。東京都立園芸高校などでは、高さ10メートル、幹回りが1メートルを超える老木が今でも花を咲かせている様子を見ることができます。

100年以上前の出来事が今につながっている例はほかにもありますが、そこに共通しているのは「人の思いが新たな歴史を作った」ということです。今の商売が100年続くかどうかは運任せでも、商売に込めた思いが本物であれば新たな価値を生み出すことはあるでしょう。



人生100年時代、AIが台頭する時代だからこそ、誰に何を贈るか、誰に何を返礼するかを考えながら、今まで以上に人の思いを大切にしたい商売をしていきたいですね。

今月の いろいろ 「掲示板」

夏原です。当事務所で働きだして約1年経ちましたが、勉強してきた事と実際に仕事で行っている事とのギャップが大きいなと感じることがあります。もちろん学校で勉強してきたものと内容はほぼ一緒なのですが、試験のための勉強なので出題傾向と逸れているものは軽く済ませられます。その知識の偏りでよく先輩方の足を引っ張ってしまって不甲斐ないばかりです。1日も早く皆様のお役に立てるようこれからも精進していきます。



経営は科学。 数字を入れて話さない。

多くのチェーンストアを育てた経営コンサルタントである渥美俊一の言葉。夢や希望をかなえたければ、そこに日付や売り上げなどの数字を入れることが大切だ。